

2021年12月15日

# たてくるジオパーク

## だより 第43号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 11ビル1階  
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204  
f https://facebook.com/tatekuro

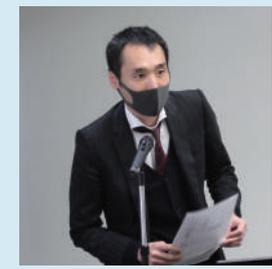


### 自然資本を活かした人づくり・地域づくり 立山黒部ジオパーク ESD ダイアログ 2021

11月13日(土)、14日(日)の2日間にわたり、立山黒部ジオパークを会場に、中部地方のジオパーク活動を題材にして、国立公園や自然公園などの自然資本を活用したESDの在り方を考えるダイアログ(意見交換会)が開催されました。このダイアログの目的はジオパークの現状やそこで行われている学習活動を踏まえつつ、学校教育、社会教育、地域づくりなどで活動する教育関係者の学び合いの場を設定し、自然教育現場、地域づくり現場へのESDの定着を促すことです。会場の大山研修センターには約50名が来場し、ライブ配信も行われました。

## 1日目 ESDダイアログ

開会式では大橋聡司会長代行の挨拶に引き続き、環境省中部地方環境事務所環境対策課主査 佐藤堅太氏のから本ダイアログの趣旨説明が行われました。第1部は、環境省中部山岳国立立山管理官事務所西田樹生管理官から「エコパーク、ジオパーク、国立公園とは?」と題して、また、信州大学の水谷瑞希助教から「自然資本を活用したESD活動とは?」



と題して講演をいただきました。

第2部は中部ブロックの4つのジオパークからESD活動事例が発表されました。立山黒部GPからは滑川市教育委員会伊東眞教育長が滑川のジオパーク教育について、白山手取川GPからは脇坂弘明学習支援員が中心となるジオパーク遠足について、恐竜渓谷ふくい勝山GPからは町澄秋学芸員が勝山で行われている教育活動について、南アルプス(中央構造線エリア)GP協議会の小澤恵理氏からからは高校生がガイドとなって地域を考える教育について、どのジオパークからも地域の地形や地質、自然や文化を活用した教育活動の事例が発表されました。

第3部はパネルディスカッション。少子高齢化や地球温暖化への対応、活動を進めていく上での体制づくり等、今後教育活動にジオパークを活用していくための必要性や問題点について協議され理解を深めました。

参加者された皆さんのアンケートからは、「国立公園、ジオパーク、エコパーク、自然資本などしっかり理解できた。学校だけでなく今回のようにSDGsやESDを学ぶ機会が増えればよい」「ESDの概要やその具体的な活用事例についての発表が分かりやすかった」「地域学習(科学や環境)への学習時間の提供の仕方を考えさせられた。学校での学習内容と深く関わるので、各教育機関にも参加を知らせてほしい」との感想が寄せられました。



< 発表内容を深める  
パネルディスカッション >

# 2日目 立山黒部ジオパークエクスカージョン(現地研修)



＜魚津水族館＞不破光大学芸員から

「うおづ水辺の調査隊」について子供たちの活動紹介



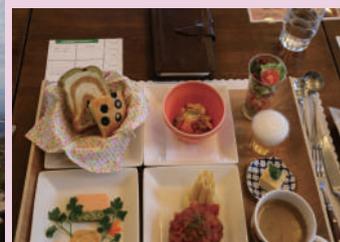
＜黒部市吉田科学館＞くろべ水の少年団指導者

協議会 吉崎嗣憲会長から「くろべ水の少年団」のこれまでの活動実績紹介



＜宇奈月町 下立のオニックスマーブルの露頭とテーブルのある展望台＞

下立財産区議会議長の長谷川晴夫氏から  
保全活動の歴史や活動状況について解説



＜宇奈月ビール館＞

宇奈月の地層や石を  
イメージしたジオランチ

## 開催事業のお知らせ

### 新規ジオガイド 養成講座 開設決定！

#### 【目的】

立山黒部ジオパークにおいて大地と自然の素晴らしさ、そこで暮らす人の文化・産業を伝える「ジオガイド」を養成するため、新規ジオガイドを募集いたします。ジオガイドには、地域住民をはじめとする多くの人々にジオパークエリアが持つ豊かで多様な自然遺産の魅力を伝え、ツーリズムを通してジオパークの目的である保全と活用を実践していただきます。

具体的な活動としては、協会が開催もしくは受託するツアーや、自身でジオパークの魅力を発信するツアーにおけるガイド、教育活動等です。

【受講対象】 ・立山黒部ジオパークのジオガイドとして活動することを望む方

・自然環境を深く愛し、その成り立ちやつながりに興味のある方で、概ね 65 歳未満※の方

※令和 4 年 4 月 1 日時点

☆ジオガイドとして認定される機会です。下記のような講座内容が予定されています。

実施期間 R4 年 2 月～R4 年 8 月

#### 講座内容

- ・ジオパーク総論
- ・地球科学(地質・総論)
- ・インテプリテーション(分かりやすく楽しく伝えるコミュニケーション力)
- ・リスクマネジメント(救命講習など)
- ・現地ツアー研修(立山ツアー、黒部ツアー、里山まち歩きツアー)



＜ガイドの様子＞

募集要綱や養成講座のスケジュール等、詳細については近日中に立山黒部ジオパークのホームページに公開します。

ホームページのお知らせからご確認ください。

<https://tatekuro.jp/>



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



# 上市町稲村の露頭調査を行いました

右の露頭写真を見てください。地層がぐにやりと曲がっています。このような地層の構造をスランプ構造と呼んでいます。水底に堆積してまだ軟らかい地層が海底地すべりによって曲げられてできた構造と考えられています。地すべりの発生原因には地震や火山活動などが想定されます。

土地の所有者の協力も得て、この地層の構造や成因、地学的価値について本格的な調査を開始しました。

11月30日(火). 堆積構造解析が専門の保柳信州大教授、荒戸秋田大教授、協会学術顧問で構造地質が専門の竹内富山大名誉教授、研究教育部会から國香、金子、ガイド部会から志村、事務局から山瀬の7人で調査を行いました。

チェーンソーで雑木を伐採すると、堆積構造全体が出現しました。最初に判明したのは、地層が右下がりに傾いていますが、当時は左下がりに緩やかに傾斜していて、その斜面で右から左へ海底地すべりが流れたことが判明しました。さらに、

- ・凝灰質な砂岩と泥岩が繰り返す正常な互層（普通の状態での堆積物）
- ・生痕化石（生物の生活の痕）
- ・地すべりの発生で軟らかい地層が斜面を下り、末端で切れて跳ね上がったスライド構造
- ・移動によって地層が折り畳まれたスランプ構造
- ・移動した地層の上流側にできた隙間を埋めた土石流堆積物
- ・この堆積構造を作り出す原因となった火山から噴出した軽石流堆積物…と、かつて日本海が形成されるときに海底で起こった火山活動が復元できる素晴らしい露頭であることがわかってきました。

現地調査後の協議では、この後の調査の進め方や活用の仕方について話し合われましたが、多様な地質現象がコンパクトにまとまった好露頭との評価を得ました。今後さらに調査を進め、身近に見られる地質ジオサイトとして整備したいと考えています。



<露頭>



<地層の詳細な調査>



<現地調査後の協議>

## 宇奈月 下立地区 ジオサイト保護・活用事業



「下立の大理石」は約1億年前の温泉を起源に持つ特殊な岩石で高級石材オニックスマーブルとして国会議事堂や黒部宇奈月温泉駅に使われています。立山黒部ジオパークでは、ジオサイトとして保護と持続可能な形での活用を進めるため、平成30年に所有者である宇奈月町下立財産区議会と協定を結びました。

この大理石を未来に残すため、「ジオパーク」をキーワードとして、地域で活動している方、下立が好きな方などが集まって、地域を守るためのアンケートや話し合い、ワークショップなどを行っています。地域の魅力を再確認し、協力して継続的に活動を進めていきます。

## 富山大学都市デザイン学部 PBL 成果発表会

8日富山国際会議場でPBL(課題解決型学習)成果発表が行われました。学生の皆さんが、富山の地域が抱える課題について、その解決策を考えて提案するという授業です。「呉羽丘陵の新たな魅力とその発信」「誰も取り残さない防災を実現するために」「楽しいまち歩きをデザインする」「立山室堂における火山シェルターの提案」など、テーマは様々。現実的に難しいと思われるものもありましたが、専門家や関連企業のアドバイスを受けた柔軟で未来志向の解決方法が提案されました。立山黒部ジオパーク

は富山市のまち歩きにジオガイドや専門員が参加しています。これからも、新たな富山の魅力の発見や防災面でのお手伝いをしていく予定です。



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 白木峰 爽快無比の山頂草原

八尾・山田エリア（富山市）

富山市の南西部に位置する白木峰の標高は、1596m。立山連峰の山岳と比べれば、一段低い山です。富山県の山岳地帯の植生は、大まかに標高約 1600～2400m がオオシラビソなどの針葉樹林が優占する亜高山帯、それ以上がハイマツ林や草原などからなる高山帯です。

白木峰の山頂部はぎりぎり亜高山帯にかかる高さですが、オオシラビソ林はなく、まるで高山域のような草原と低木林に覆われ、ところどころに池塘（ちとう）も見られます。広くなだらかな稜線一帯は見晴らしがよく、夏にはゼンテイカが一面に咲き、その他にもコバイケイソウ、チングルマ、イワイチョウなど、草原～湿原に生育する花を楽しむことができます。この草原は、冬の季節風が強く当たることや雪が多いこと、起伏が緩やかで排水が良くないことなどが複合して作られています。

白木峰は立山黒部ジオパークの自然サイトに登録されています。



白木峰山頂草原



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=66>

## 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。

**小さな部品で世界をつなぐ**  
ものづくりのプロフェッショナル集団

**FINECS**  
ファインネクス株式会社

自動車やスマートフォンなどに使用される各種電子部品の製造  
本社工場／富山県中新川郡舟橋村舟橋415 TEL:076-462-1881  
上条工場・JMT工場・JMT南工場（富山市上条工業団地内）/東京・大阪・名古屋支店  
URL:<http://www.finecs.co.jp/>

大空の下で、大地の上で、  
大自然を相手に  
大きな夢をかなえる仕事をしています

いろいろな土地を、いろんなまちを、もっと住みやすく、  
もっと美しくするために、さまざまな事業に取り組んでいます

土木工事・建築工事・  
法面保護工事・測量・地質調査

**株式会社 東城**  
TOJO

富山県魚津市六郎丸2935  
TEL:0765-23-1110 FAX:0765-23-0200  
URL:<https://tojonet.co.jp>

### お知らせ



『たてくろジオパークだより 42号』の「見どころ紹介」で掲載した資料の所蔵情報等が記載されていませんでした。蓑輪の地層から発見された「デスモスチルスの歯の化石」と「メガロドンの歯の化石」は滑川市立博物館所蔵で、画像も同館から提供を受けたものです。



先日のNHK「プラタモリ」は富山の山と川と海のつながりが富山の富をもたらしているという内容でしたが、みなさんご覧になりましたか？ Twitterにも情報がたくさん寄せられていました。当たり前すぎて気に留めなかった富山の良さに改めて「なぜ？」と好奇心を持ち、ジオの面から見直したり、改めて考えたりしてみると、新しい価値や面白さを見つけることができます。立山黒部ジオパークは「教育」「ツーリズム」「保護・保全」この3つを柱に豊かな地域を目指し、未来へつなげていく活動を進めています。43号ではその活動の様子を主にお知らせしました。ジオパークの活動に興味・関心のある方、ジオガイドさんのページもぜひのぞいてみてください。

会員を募集しています！



**立山黒部ジオパーク**  
TATEYAMA-KUROBE-GEOPARK

